



受入れ介護事業者と 鹿児島県ではたらく外国人介護職員にインタビュー！

これまでに県の事業を活用し、外国人介護職員を採用した介護施設担当者に、本事業や外国人介護職員採用に関するリアルな声を聞きました。また、その介護施設ではたらく外国人介護職員にも、日本の介護施設ではたらく感想やこれからの目標を聞いてみました！

《今回お話を聞いた方》

※インタビュー日：2025/9/25

医療法人三州会

従業員数：約605名

事業内容：医療・福祉

2023年度インドネシア出身の2名を採用



インドネシア出身



左) ザエニさん

右) ヌルルさん

受入れ担当者の声

■外国人介護職員を今回採用しようと思ったのはなぜでしょうか。

鹿児島県介護特定技能外国人マッチング支援事業を活用させていただき、情報を得たり手続きが分かってくることでごく安心しました。

また、登録支援機関にサポートを依頼しており、自分たちでできるだろうか？と不安もありましたが、手続き関係をサポートしていただき安心しました。

そして、オンラインで外国人介護職員と面談し、話をしているうちに不安がなくなり安心に繋がりました。

■受入れてみて、現在の状況はいかがでしょう。

真面目に前向きに取り組まれ、今では夜勤や時差出勤も通常の職員として任せることができるところまで成長しています。

日本人の職員とも仲良くして毎日仕事をしているような印象を受けます。

■仕事の評価や指導で気を付けていることはありますか。

日本語の能力を付けてほしいので、「鹿児島県外国人材向け日本語学習支援事業」のe-ラーニングシステムに参加していただいています。

今後は介護福祉士資格取得に向けて研修などが必要になるので対応を準備しているところです。

■今後、外国人介護職員の採用についてはどのようにお考えでしょう。

時間はかかりますが、サポートを受けながらやっていけばできると思いますので、これからの自分たちの施設にとって未来への投資だと思って進めていくという気持ちが大事ななと思いました。

外国人介護職員にも聞いてみた！

■介護の仕事で楽しいと思うことや、仕事の目標を教えてください。

利用者様の笑顔を見れた時が一番楽しいです。

利用者様が笑顔ですごせるようにサポートできるような介護職員になることです。そのために日本語の知識や技術をさらに身につけていきたいです。

■会社のサポートで良かったことを教えてください。

介護に関する研修に参加をさせていただいたり、先輩たちからも安全な介護や声掛けなど教えていただき、現場ですぐ使えるスキルが身につきました。

